

# ふるさと納税があったからできたこと ～新型コロナウイルスに負けないまちづくり～

境町では、ふるさと納税の寄付額が茨城県内6年連続1位となりました。おかげさまで、さまざまな住民福祉の取組みを実施することができています。新型コロナウイルスの感染拡大下の中でも、売上が下がっている飲食店の支援や、休校などで給食がなくなり負担の増えている子育て世帯への支援をすばやく実現することができました。

## 1 コロナ対策&飲食店支援 「境町テイクアウトプロジェクト」



コロナの影響を受け、売上げが減少している飲食店を支援し、同時にステイホームを推奨するため、テイクアウトを始めた町内飲食店に対して上限500円のお弁当半額補助を実施しました。開始時点で39店舗だった参加店舗は48店舗まで拡大し、利用者だけでなく、参加店舗からも大好評をいただきました。

### Voice

**参加店舗の声**  
「沢山のお客様に召し上がっていただく機会ができました。材料も気持ちもとても好循環で活気を保つことができました。お客様の笑顔を見るだけで元気がもらえました。ありがとうございました。」



## 2 ごちめし×こども食堂×境町×町内飲食店 「境町まるごとまちごと子ども食堂」

4月1日(水)より、アプリ「ごちめし」(Gigi株式会社)を利用した「境町子ども食堂」を開始しました。参加店舗は、毎日各店10食分のお弁当を子どもたちへ無料で配布しています。(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在はお弁当で提供しています。)

この取り組みは、子どもの健やかな成長支援をすることを目的にしており、新型コロナウイルスの拡大で売上が落ち込む、町内飲食店の支援にもなっています。



### Voice

#### 境町子ども食堂参加店舗の声



「子どもたちが喜んでる姿を見て、とても嬉しく、作るのも楽しかったです。今まで来店しなかったお客様が沢山きてくれて、良いきっかけとなりました。今後とも来てくれると嬉しいです。」

#### 境町子ども食堂利用者の声



「今まで利用したことのない店舗もあり、新しいお店を探すのが楽しかったです。コロナウイルスが落ち着いたら、今度はお店で食べたいと思います。」

# ふるさと納税があったからできたこと ～高校生をコロナから守る! マスクインナープロジェクト～

境町では、様々な事業にふるさと納税を活用させていただいています。ふるさと納税のおかげで、新型コロナウイルス感染症対策も迅速に対応することができました。

## 新型コロナウイルスから高校生とその家族の命を守りたい! 茨城県の高校生7.5万人全員に減ウイルスマスクインナーを贈ります マスクインナープロジェクト



新型コロナウイルスの感染が拡大する中、茨城県では高校の授業が再開され、マスクが手に入らない状況で「自分が感染するのでは」「家族も感染させてしまうのでは」と、不安を抱えている高校生が大勢いました。そこで境町は、県立境高校をはじめ、茨城県の高校生7万5千人が安心して学校生活を送れるよう、減ウイルス機能のあるマスク補助材「マスクインナー」を配布する「マスクインナープロジェクト」を立ち上げました。「マスクインナー」の購入費用は企業から寄付を募る「企業版ふるさと納税」と、個人が自治体に寄付をするふるさと納税の「ガバメントクラウドファンド」を活用しました。最終的に、企業版ふるさと納税で3,260万円、ガバメントクラウドファンドで1,058万円の寄付が集まり、寄付により購入したマスクインナーを各学校に贈呈しました。

マスクインナーを受け取った境高校や他の多くの学校から境町へ、たくさんのお礼のお手紙や感謝の言葉をいただきました。

### Voice

#### 高校生から届いたお礼のメッセージ



「この度は、本校生徒のためにたくさんのマスクインナー送っていただき、本当にありがとうございました。4月10日から続く臨時休校措置により、順調な学校生活をおくるのがなかなか出来ず、今も不安な気持ちでいっぱいです。私たち自身が、新型コロナウイルス感染にもっと関心を持ち、感染しないようにそして感染させないように責任と自覚をもって行動しなければならぬと改めて思いました。その中で高校生として学業に運動に一生懸命励みたいと思います。」



「新型コロナウイルスの影響で日本中が混乱し、皆が大変な中私たちに温かい支援をして下さり、ありがとうございます。皆さんの応援を受け、もっと勉強を頑張らなくては、という気持ちが強くなりました。私たちも、今自分にできることを考え、行動していきたいと思います。」



「このたびは我々生徒のために貴重なマスクインナーを用意いただき有難うございます。新型コロナウイルスのおさまらない社会の中で我々生徒の身を守る対策をとっていただいていることに、心から感謝いたします。」